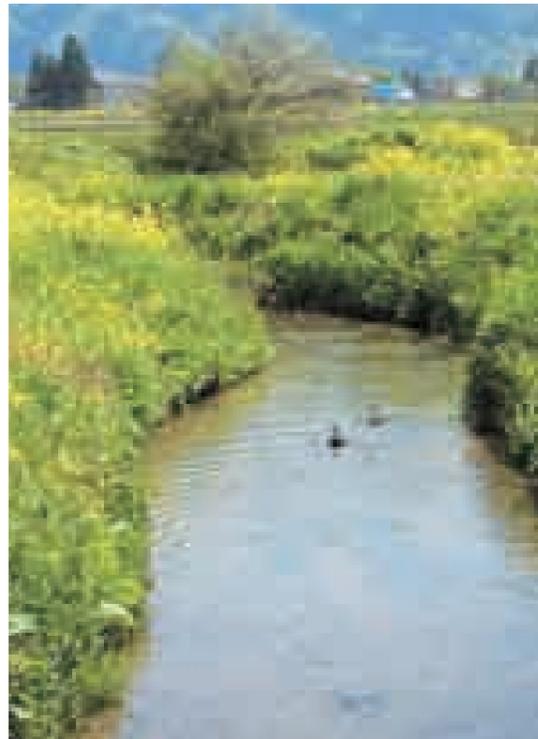


# 清水探訪

第3回

しずがわ  
【清水川】(仙南地区 天神堂)



清水川はその名が示すとおり清水の流れが集まってできた川です。江戸時代の紀行家菅江真澄は「祖父清水祖母清水」の両泉落合て清水川と流る」と著書『月の出羽路』に記しており、現在でも当時のまま祖父清水と祖母清水の湧水が川になり、川底から湧き出た水と合流して農地の水源になっています。

戦前、飯詰街道を往来する人は必ずと言ってよいほど清水川で喉の乾きを潤したそうです。地元で農業を営む佐藤健良さんは「町の帰り道や草刈りの行き来にここで休み、露の葉をひしゃくに水を飲んだものだ」と当時を振り返ります。清水川が地域の憩いの場であったことが伺えます。

近年、日本中で農地の改良工事が進み、「春の小川」に歌われたような風景はほとんど姿を消してしまいました。その中にあって清水川は農村の原風景とも言える景観を今に伝えています。しかし、川岸が少しずつ崩れ、一昨年には水が枯渇してイバラトミヨがいなくなってしまうなどの課題も抱えています。

「ここには子どもたちが水辺の生き物の観察に来ます。地域の宝を次の世代に残すために知恵を絞っていききたい」と語る佐藤さん。川岸の手入れやイバラトミヨの放流など、貴重な場所を守るための活動が地域の人々の手で行われています。

(※)『月の出羽路』には「祖父清水祖母祖父」と記されていますが「祖父清水祖母清水」の誤表記と考えられています。

《清水は、地域みんなのものです。保存・保全に地域みなさんのご協力を》

問い合わせ ● 商工観光交流課 観光班 ☎0187-84-4909

スノーダンプやプランターが捨てられているなんて…

## 水辺環境クリーンアップ作戦

4月25日に仙南地区を流れる出川<sup>いでかわ</sup>で水辺環境クリーンアップ作戦が行われ、地域住民やみさぼーたー、町職員など約60名が参加しました。この取り組みは「水環境保全プロジェクト」の一環として去年から行われています。当日は美郷町南行政センター近くの糠測橋から上流の区間約2kmを清掃し、家庭用ごみ袋で約320袋のごみを回収しました。参加者はごみの多さに驚いた様子で、「日本海に浮かぶごみの中には美郷町から流れ着いたものもあるかもしれない」と下流域を心配する声が聞かれました。町では不法投棄の根絶と環境保全を目指し、今後もパトロールや啓発活動などを継続していきます。美郷町の水環境保全のため、町民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いします。



不法投棄を発見したら、  
住民生活課環境安全班にご連絡を！  
☎0187-84-4903

6月から9月まで月1回の講座を受講して  
「水環境マイスター」を目指しませんか

第1回(6月開催分) テーマ「水を学ぼう」  
講師:環境カウンセラー 津村 守氏

日時 ● 6月26日(土)  
午後1時30分～午後4時30分

場所 ● 千畑交流センター

申込方法 ● 電話でお申し込みください

申込期限 ● 6月18日(金)

※第2回以降の日程は広報紙でお知らせします。

申込・問 ● 住民生活課 環境安全班

☎0187(84)4903

**昨**年、水環境マイスターに認定されましたが、認定を受ける前から地元の有志が集まって土崎・小荒川地区の湧水を守る活動をしてきました。清水の清掃はもちろんです、千屋小学校にあるピオトープでの環境学習にも協力しています。男鹿水族館にいるイバラトミヨも私たちが保護して提供しているんですよ。

私が幼いころはプールがなかったのが清水で遊んだものでした。また、家の台所に清水を引き込んで生活用水として使っていました。子どもが生まれるればその水を産湯に使い、家族が亡くなればその水を沸かして体を清めて送り出しました。「水」は家族のきずなを強めてくれるかけがいのないものだと幼心に感じたものです。

**水**と聞くと蛇口から出る飲用水のことばかりを思い浮かべますが、美郷町の水田にも米を育てるための「水」がたくさん使われています。田んぼに水が張られる季節に真昼岳からふもとを見下ろすと、空を映した大きな鏡のような景色が広がっています。この「水」は食物を育て、その食

「水環境マイスター」とは水環境の保全活動に必要な知識を身に付けた人のことで、水環境の保全に力を入れている美郷町が独自に認定しているものです。現在13名のマイスターが地元での保全活動などで活躍しており、今年も受講者を募集しています。

**生**活排水を川を流すとどうなるのでしょうか。汚れた水は川を下って海に流れ着き、いつか私たちの子孫が口にするかもしれない海の生き物を汚染するのです。水には大きな循環がある。目先の飲用水のことだけを気に掛けるのではなく、そういう大きなスケールで水環境を学んでもらいたいと思います。これらは一人あたりで取り組む問題ではありません。自分の眼前にある清水のような小さな環境でもそれを守るためにみんなで手を尽くせば、いずれ積み重なって大きな水環境を守るにつなげていくのだと思います。



■水環境マイスター 佐々木 哲雄 さん(土崎)

養成講座受講者を募集しています。

# 水環境マイスター